

要防除水準(果樹)

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
果樹(リンゴ、モモ、ナシ)	ハダニ類	6月上旬～7月下旬	見取り調査、任意	葉当たり雌成虫1頭	防除開始		福島県
果樹	ミカンハダニ	夏～秋期	見取り調査 1樹あたり40葉×3樹	雌成虫数早期多発樹で3頭/葉(平均で0.5～1頭/葉)	即時		愛媛県
果樹類	ハダニ類	生育期	1樹あたり新梢葉20枚、徒長枝10枚を見取り調査	成幼虫数3頭/葉以上	即時		山形県
果樹	黒点病	春～夏期	アメダスデータによる降雨量調査 暦による日数調査	200～250mmの降雨後又は前回防除後30日以内	即時		愛媛県
かんきつ	ヤノネカイガラムシ	3月	見取り調査	越冬母虫が100葉あたり2頭以上	6月または8月	(要防除密度の目安)	兵庫県
かんきつ	ヤノネカイガラムシ	4月	1樹100葉あたりの寄生虫数	2～15頭未満	6月		熊本県
かんきつ	ヤノネカイガラムシ	4月	1樹100葉あたりの寄生虫数	15頭以上	6月と8月		熊本県
かんきつ	ヤノネカイガラムシ	4月	1樹100葉あたりの寄生虫数	2頭未満	8月		熊本県
中・晩生かんきつ類(施設栽培)	カイガラムシ	6月	任意に100葉を選び寄生葉を調査し、寄生葉率を求める。	寄生葉率30%以上	6月中下旬(果実肥大期)		千葉県
かんきつ	チャノキイロアザミウマ	6～7月	見取り調査、予察圃場50果/樹/2樹、巡回調査25果/圃場	果実における寄生密度 0.1頭/果	即時		長崎県
かんきつ	チャノキイロアザミウマ	6～7月	100果あたり虫数	10頭以上	即時		熊本県
かんきつ	チャノキイロアザミウマ	6～9月	6～9月	寄生果率15%以上または10果あたり1頭以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
かんきつ	チャノキイロアザミウマ	8～9月	100果あたり虫数	15頭以上	即時		熊本県
かんきつ	チャノキイロアザミウマ	8～9月	見取り調査、予察圃場50果/樹/2樹、巡回調査25果/圃場	果実における寄生密度 0.3～0.5頭/果	即時		長崎県

要防除水準(果樹)

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
かんきつ	ミカンハダニ	-	見取り調査	寄生葉率30%以上、または1葉あたりの雌成虫数0.5頭~1頭以上	即時		佐賀県
かんきつ	ハダニ	随時	見取り調査	雌成虫の寄生葉率30%以上または1葉あたり1頭以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
かんきつ	ハダニ類	全期間	生息密度、見取り(10葉×5樹)	寄生葉率30%又は寄生虫数0.5~1.0頭/葉	即時		宮崎県
かんきつ	ミカンハダニ	定期的	雌成虫数/葉	0.5~1頭	即時		熊本県
かんきつ	ミカンハダニ	定期的	雌成虫寄生葉率	30~40%	即時		熊本県
カンキツ	ミカンハダニ	発生期	100葉調査	1頭/2葉	即時		神奈川県
カンキツ	ミカンハダニ	発生を確認した時	見取り調査	雌成虫0.5~1.0頭/葉(寄生葉率40~50%程度)	即時		鹿児島県
かんきつ	ミカンハダニ	3月~10月	見取り調査、1圃場あたり50葉調査	1.0頭/葉	即時		三重県
中・晩生かんきつ類(施設栽培)	ミカンハダニ	6月	任意に100葉を選び寄生葉を調査し、寄生葉率を求める。	寄生葉率30%以上	6月中下旬(果実肥大期)		千葉県
中・晩生かんきつ類(施設栽培)	ミカンハダニ	10月	任意に100葉を選び寄生葉を調査し、寄生葉率を求める。	寄生葉率30%以上	10月中旬		千葉県
かんきつ	ミカンハダニ	春~秋	見取り調査	寄生葉率30~40%、1葉あたり雌成虫数が0.5~1頭以上	即時		山口県
かんきつ	ミカンハダニ	生育期	見取り調査、予察圃場50葉/樹/2樹、巡回調査50葉/圃場	寄生葉率30~40%	即時		長崎県

要防除水準(果樹)

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
かんきつ	黒点病	-	降雨量の確認(積算地を利用)	(1)薬剤散布後の積算降雨量が200~250mmに達した時点(マシン油を加用した場合300~400mm)(2)積算降雨量が(1)に達しない場合、散布後1ヶ月	即時		佐賀県
かんきつ	黒点病	定期的	(1)累積降水量(2)前回散布からの日数	累積降水量200~250mm又は前回散布から25~30日後	即時		熊本県
カンキツ	黒点病	発生期	薬剤散布後の降水量	散布後250mm以上降雨があったら再防除	即時		神奈川県
かんきつ	黒点病	5月~9月	降水量	前回防除後の降水量が200~250mmに達した時(もしくは防除後1ヶ月を経過した時)	即時		山口県
かんきつ	黒点病	5月中旬~8月	降水量調査	累積降水量250~300mm以上又は前回散布からの経過日数25~30日	即時		長崎県
かんきつ類	黒点病	5月中旬~8月下旬	累積降水量:アメダスポイント毎で半旬別降水量から前回防除後の累積降水量を把握する。	累積降水量:前回農薬散布以降200~300mm	即時		広島県
カンキツ	黒点病	5月中旬~9月上旬	降水量調査(簡易雨量計など)	薬剤散布後累積降雨量200~300mm,または前回散布から経過日数25~30日	即時		鹿児島県
かんきつ	黒点病	落弁期~9月	降水量、アメダス	前回防除後の降水量累積250~300mm	即時		宮崎県
みかん	チャノキイロアザミウマ	5月~10月	寄生果率	許容被害度を10とした場合、6月~7月の寄生果率が8%、8~9月は10%	6月~10月		静岡県
みかん	ミカンハダニ(夏ダニ)	3月~9月	雌成虫頭の寄生葉率	夏期:寄生葉率30%、秋期:寄生葉率20%	3月~9月		静岡県

要防除水準(果樹)

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
みかん	黒点病	5月～11月	降雨量	有機銅:散布間隔は20～25日または累積降雨量230mm・有機銅以外の薬剤:散布間隔は25～30日または累積降雨量250mm～300mm	5月～11月		静岡県
いちじく	アザミウマ類	6月上旬	黄色粘着トラップ(20cm×20cm)による誘殺	旬あたり300頭以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
いちじく	アザミウマ類	6月中旬	黄色粘着トラップ(20cm×20cm)による誘殺	旬あたり500頭以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
なし	ハダニ類	-	見取り調査	寄生葉率10%以上又は1葉あたりの雌成虫数0.5頭以上	即時		佐賀県
なし	ハダニ類	定期的	寄生葉率	20%以上	即時		熊本県
なし	ハダニ類	定期的	雌成虫数/葉	1～2頭	即時		熊本県
なし	ハダニ	5～9月	見取り調査	寄生葉率20%以上または1葉あたり1頭以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
なし	黒星病	5月上旬～6月中旬	降雨量の確認(積算地を利用)	(1)薬剤散布後の積算降雨量が100～200mmに達した時点(ただし、使用する薬剤により、防除基準である降雨量の目安が変わる)(2)積算降雨量が(1)に達しない場合散布14日後	5月上旬～6月中旬		佐賀県
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	5月下旬	黄色粘着トラップ(20cm×20cm)による誘殺	旬あたり20頭以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
ぶどう	チャノキイロアザミウマ	6月上旬	黄色粘着トラップ(20cm×20cm)による誘殺	旬あたり40頭以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県
りんご	ハダニ類	随時	-	1葉あたり3頭以上	要防除密度に達した時		宮城県

要防除水準(果樹)

作物名	病害虫名	調査時期	調査方法	要防除水準	防除時期	備考	都道府県
りんご	ハダニ類	6～8月	ルーペによる見取り調査、1園地あたり10樹、1樹あたり10枚の葉を調査。調査する葉は、リンゴハダニでは目通りの高さの新梢10本の中位葉を各1枚。ナミハダニでは、樹冠内部の主幹や主枝から直接発出した新梢10本の中の中位葉を各1枚。	2個体/葉 又は寄生葉率50%以上	できるだけ早めに殺ダニ剤を散布		青森県
りんご	ハダニ類	6月下旬～9月上旬	普通樹で主幹・主枝徒長枝の下位葉、わい性樹で主幹近くの新梢下位葉を調査	寄生葉率30%	即時		岩手県
りんご	ナミハダニ	7～9月	見取り調査	寄生葉率30%以上または1葉あたり1頭以上	即時	(要防除密度の目安)	兵庫県